

- 問1 2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」において、その中心的な考え方である「持続可能な開発」の説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 発展途上国の経済成長を最優先し、先進国がそのための資金をすべて負担する開発
 2. 資源の枯渇を防ぐため、将来の世代のために現代の世代がすべての消費を我慢する開発
 3. 将来の世代が必要とするものを損なうことなく、現代の世代の要求を満たすような開発
 4. 地球環境を保護するために、現在の経済活動や工業化を世界規模で停止する開発
- 問2 地域の自然環境や文化を損なうことなく、それらを対象に環境の保全への理解を深めることを目的とした観光のあり方を何といいますか。（2021年 奈良県公立入試 類似）
1. エコツーリズム
 2. メディカルツーリズム
 3. バリアフリー観光
 4. グリーンツーリズム
- 問3 2015年に採択された、地球温暖化を防ぐための国際的な枠組みについて、正しい説明を選びなさい。この合意では、世界の平均気温の上昇を産業革命前と比べて2度未満に抑えることを目指しており、先進国だけでなく発展途上国を含むすべての参加国が温室効果ガスの削減目標を作成・提出することが義務付けられています。（2026年 岐阜県公立入試 類似）
1. 京都議定書
 2. パリ協定
 3. ラムサール条約
 4. ワシントン条約
- 問4 世界の二酸化炭素排出量を国別に見ると、1997年から2015年にかけて、中国の割合が14.5パーセントから28.1パーセントへ、インドの割合が4.4パーセントから6.4パーセントへとそれぞれ拡大しています。このような状況を受けて、2020年以降の温室効果ガス削減のために採択された国際的な枠組みの名称を答えなさい。（2026年 滋賀県公立入試 類似）
1. ワシントン条約
 2. ラムサール条約
 3. 京都議定書
 4. パリ協定
- 問5 地球温暖化対策として、なぜ「公共交通機関の利用」や「再生可能エネルギーへの転換」が強く求められているのでしょうか。その理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2024年 北海道公立入試 類似）
1. 酸性雨の原因となる硫酸化物の排出をゼロにすることで、森林の立ち枯れを直接的に防ぐため
 2. 化石燃料の使用によって排出される二酸化炭素などの温室効果ガスを削減し、気温上昇を抑えるため
 3. 大都市圏への人口集中を防ぎ、地方の公共交通インフラを維持・存続させるため
 4. 海洋プラスチックごみによる生態系への影響を最小限に抑え、水質汚染を防止するため
- 問6 北欧のノルウェーでは、国内の発電電力量の約96%という極めて高い割合を、ある特定の発電方法が占めています。この発電方法の名称と、環境への影響に関する説明の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2019年 長野県公立入試 類似）
1. 原子力発電 — 放射性廃棄物の処理が課題となるが、発電過程では二酸化炭素を排出しない。
 2. 火力発電 — 石炭や天然ガスを燃料とするため、発電時に大量の二酸化炭素を排出する。
 3. 水力発電 — 発電過程において、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しない。
 4. 風力発電 — 地形の影響を受けやすいが、二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギーである。
- 問7 開発途上国で生産されたコーヒーやカカオなどの農産物や製品を、労働に見合った適正な価格で継続的に購入することによって、現地の生産者の自立や生活改善を支援しようとする仕組みを何といいますか。（2018年 福島県公立入試 類似）
1. メディアリテラシー
 2. ユニバーサルデザイン
 3. フェアトレード
 4. ワークシェアリング
- 問8 内閣府が実施した世論調査において、日本が国際社会で果たすべき役割として「地球温暖化などの環境問題解決への貢献」を挙げる回答が多く見られます。この地球温暖化の主な要因とされる温室効果ガスの説明として、最も適切なものはどれか。（2015年 岡山県公立入試 類似）
1. 石炭や石油などの化石燃料を燃焼させることで発生する、二酸化炭素などの気体。
 2. 冷蔵庫の冷媒やスプレーの噴射剤として使われていた、オゾン層を破壊する気体。
 3. 森林の過剰な伐採や家畜の放牧によって、植物が育たない乾燥した土地が広がる現象。
 4. 工場の排煙に含まれる硫酸化物や窒素酸化物が、雨に溶け込んで酸性を示す現象。
- 問9 地球温暖化の影響を完全に防ぐことは困難であるため、近年では、農作物の品種改良によって高温でも育ちやすいコメを開発したり、堤防を高くして洪水に備えたりする取り組みが重視されています。このように、気候変動の影響に合わせて社会や生活のあり方を調整する取り組みを何と呼びますか。（2022年 山形県公立入試 類似）
1. 排出量取引の導入
 2. 持続可能な経済成長
 3. 気候変動への適応
 4. 温室効果ガスの緩和
- 問10 1997年に採択された京都議定書における、温室効果ガスの排出削減の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。（2022年 山口県公立入試 類似）
1. 経済成長を維持するため、すでに排出量が減少していた先進国には努力義務のみが課され、発展途上国に厳しい削減義務が課された。
 2. 排出量の多い中国やアメリカ合衆国を優先し、この2か国に対してのみ法的拘束力のある削減義務が課された。
 3. すべての国が平等に責任を負うべきという考えから、発展途上国を含むすべての加盟国に対して一律の削減目標が設定された。
 4. 地球温暖化への歴史的な責任を考慮し、先進国にのみ削減義務が課され、発展途上国には削減目標が設定されなかった。
- 問11 日本の二酸化炭素排出量について、2021年の統計データを説明した記述として最も適切なものを選択してください。（2026年 島根県公立入試 類似）
1. 日本の総排出量は世界全体の1割未満に抑えられており、1人あたりの排出量も発展途上国の平均を下回っている。
 2. 世界の総排出量に占める日本の割合は1割未満であるが、1人あたりの排出量は先進国平均や世界平均を上回っている。
 3. 日本の総排出量は中国を上回っているが、1人あたりの排出量で見ると世界平均よりも低い値となっている。
 4. 世界の総排出量に占める日本の割合は3割を超えており、1人あたりの排出量も世界で最も多い。
- 問12 1990年から2015年にかけての世界の二酸化炭素排出量の推移を分析すると、ある国々のグループは排出量が減少または横ばいであるのに対し、もう一方のグループは排出量が急激に増加し、途中で前者の排出量を追い越しています。この排出量が減少または横ばいとなっている、歴史的に二酸化炭素を多く排出してきた国々のグループが、1997年の京都議定書で課された役割として適切なものはどれですか。（2024年 石川県公立入試 類似）
1. 温室効果ガスの排出量を1990年の水準から一定の割合で削減する義務
 2. 発展途上国からの製品輸入を制限し、自国内の工業生産を維持する義務
 3. 2015年までにすべての化石燃料の使用を禁止し、自然エネルギーへ転換する義務
 4. 二酸化炭素の排出枠を新興工業経済地域へ無償で譲渡する義務
- 問13 石油、石炭、天然ガスのように、大昔の動植物の遺骸が地中で長い年月をかけて変化し、エネルギー源として利用されている資源を総称して何と呼びますか。（2020年 岡山県公立入試 類似）
1. 化石燃料
 2. 鉱産資源
 3. バイオ燃料
 4. 再生可能エネルギー